



宇宙動物園のライオンたち



このきれいな写真は、新型望遠鏡VSTで撮影（さつえい）されました。これは、しし座の三つの銀河として知られているものです（写真をクリックすると三つとも見えます）。ふつう大型望遠鏡は、これらの銀河のうちの一つだけを調べることができます。しかしVSTはこれら三つの銀河のすべてを、一回で一枚の写真におさめることができます！

この三つの銀河はしし座の三つ子とよばれています。なぜならば、夜空にうかぶ、しし座という星座の中にあるからです。

星座とは夜空にうかぶ絵のことで、いくつかの星と星を、いろいろな品物ものの形や動物、あるいは人のすがたとして、ちょうど点と点をつなぐパズルのようにみたいに、結んでできたものです。しし座の“しし”という言葉は古い言葉で“ライオン”の意味ですから、この星座はライオンの姿のように見えるはずですが、でも実際、どんな星座の写真でもその名前のように見えません。そう見ようと思ったら、とっても想像力がが必要です。

もしかして、あなたはすでに新聞や雑誌の星占い（うらない）で、しし座、乙女（おとめ）座、魚座などの星座の名前を知っているかもしれませんね。これらの星座は黄道（こうどう）十二星座といえます。

これらの星座を使って人々の未来を予測することを占星術（せんせいじゅつ）といいます。しかし、天文学者たちはみんな、これが意味のないことであることを知っています。なぜなら黄道十二星座は、人々の暮らしに何の影響（えいきょう）もあたえないからです！

人々は、天文学（アストロノミー）と占星術（アストロロジー）を、ごちゃまぜにすることがよくありますが、それらはまったく別のもので、天文学は科学ですが、占星術は科学ではありません！

COOL FACT

ほんとうは黄道にある星座は13個ですが、星占いをしている人たちは「へびつかい座」という星座を無視して、黄道には12個の星座しかないと言っています！